



滋賀短期大学 学 報

2026. 7. 1

No. 94

CONTENTS

- [理事長・学長メッセージ/P2]
- [特集/子育て支援事業/P3]
- [令和7年度卒業式、令和8年度入学式、学長懇談会/P4]
- [令和8年度フレッシュマンセミナー/P5]
- [活躍する卒業生/P6~7]
- [滋賀短期大学 3つのサポートセンター/P8]
- [新任教員・退職教員こあいさつ、「一つの事務局」誕生/P9]
- [学生自治会、強化クラブの活動/P10]
- [同窓会だより、後援会の活動/P11]
- [令和7年度教育研究・社会活動、図書館/P12~P13]
- [卒業生就職状況/P14]
- [令和7年度決算・財務状況報告/P15]
- [私の青春時代、地域連携センター、ホームカミングデー、人事異動/P16]

滋賀短期大学 公式
Instagram



SHIGATAN1970



滋賀短期大学

〒520-0803 大津市竜が丘24-4 滋賀短期大学 図書委員会
電話(077)524-3605
ホームページアドレス <https://tandai.sumire.ac.jp/>

エッセンシャルワーカーの 養成こそ短期大学の使命では

純美禮学園理事長
滋賀短期大学学長

秋山 元秀



今年の入学式の式辞で私はエッセンシャルワーカーについて述べてみました。エッセンシャルワーカー（以後ESWと略）というのは、最近よく使われるようになったことばで、文字通りessential “必要不可欠”とか“根本的・基本的”といえるような仕事をする人という意味です。具体的にどのような職業を指すかについては必ずしも定まった定義があるわけではありませんが、医療分野では医師や看護師、救急救命士、助産師、薬剤師のみならず、医薬品や医療器具のサプライチェーンに従事する人、病院で相談業務や医療事務に携わる人も該当するようです。教育保育分野では各種校園の教職員・保育士・相談業務の人が該当するでしょうし、福祉介護分野でも、施設の介護士・指導員・ソーシャルワーカー・ホームヘルパー・福祉事務所や社協の職員も該当するでしょう。

それから医療や教育など、直接人や子供に接する仕事でなくても、社会生活を維持するうえで欠かせない職業としては、食糧や日用品の流通や販売にかかわるスーパーやコンビニで働く人たち、またその品々を運ぶ運輸関係者も重要なESWです。さらに忘れてはならないのは、都市生活に欠かせないインフラ整備、毎日のごみ収集処理の仕事なども該当します。

そういう目で見ていくと、社会で行われている仕事はすべてESWではないかともいえますが、特にESWということが注目されるようになったのは、コロナ禍の時の社会のあり方でした。コロナ禍が深刻になると同時に、一般の会社は休業したり、リモートで勤務

することが奨励されたりしましたが、典型的な例でいえば、病院は決して休むことはできませんでした。小学校や中学校は学級閉鎖も行われましたが、保育園はそんなことはできませんでした。また公共交通機関は止めることはできないし、スーパーの食品売り場も閉鎖することはできませんでした。ごみの収集も同じです。

もしこれらの仕事を遂行する人がいなかったら、私たちの生活はどうなっていたでしょうか。海外では一つの大都市のロックダウンが行われたところもありますが、悲惨な結果を招いたことはよく知られています。このような状況の中で、ESWという職種が特に注目されるようになったといえるでしょう。文科省でもたとえば「社会とともに歩む私立大学の変革への支援強化パッケージ」という政策提言の中で、「教師、保育士、看護師等地域のESWや地域経済の担い手となる産業人材等の育成等で私立大学が主要な役割を果たしている」として、とくに地方における私立大学の役割に期待しています。

私はこのESWの育成という役割は、地方の私立短期大学がその存在意義をかけて遂行するべきではないかと考えています。現在日本の短期大学は極めて厳しい状況下にありますが、本学がもっている学科・コースの設置目的からして、ESWの育成という観点からもっとアピールする必要があるのではないのでしょうか。

“すみれがーでん『おにぎり』”（子育て支援事業） 6月にリニューアル・オープン!しました

滋賀短期大学は、2002年から政府の「少子化問題」における本格的な子育て支援策の取組みに応えるべく、『地域に開かれた大学』として「子育て世代が地域で安心して子育てできるように、地域で支えていこう」と、先進的に“子育て支援事業（すみれがーでん）”や“子育て相談”を展開してきました。

コロナパンデミック宣言（WHO）を受け「すみれがーでん」も活動中止を余儀なくされていましたが、この度2026年6月、子育てに向き合う保護者の皆さまに向けた子育て支援事業として、新生“すみれがーでん『おにぎり』”を再開することになりました。

子育ての課題は常に社会の課題と言われます。

核家族化や地域のつながりの希薄化、顕著化してきた少子化問題、そして情報化社会…とここ30年、時代は大きく変化しています。また、ライフワークバランスの推進により、両親ともに子育てと就労の両立を選択する時代となり、保護者自身にも自分の子ども時代の経験とは違う時代への対応が求められています。

子育てに多様な変化が生じる今、産前から職場復帰までに保護者同士や地域とのつながりの一歩を作りたい、子どもを傍らにリビングでちょっと休憩できるようなくつろぎの場を作りたいという思いから、新生“すみれがーでん『おにぎり』”の主役は、保護者の皆さまとしました。0～1歳児のお子様をもつ保護者の方とこれから出産される妊婦の方を対象に、幼な子と思う暮らしの中にいる者同士が集いしたいと思います。

この時期は家の中にもりがちな方も多いと思いますが、お子さまも遊んだり、お昼寝したりできるように準備しておりますので、どうぞお気軽に安心してお越しください。

また、食健康コースの協力を得て、保護者ランチ（おにぎりと具たくさん味噌汁）を提供します。

一緒に食べて、おしゃべりして、誰かの「困ったなあ〜」が、「そうそう、分かる、分かる!」「ちょっと休憩しよう〜」の共感となり、日頃の思いや悩みを、分け合い笑い合い、帰る頃には少しでも晴々とした気持ちになることを願っています。

子は鎔。子どもがつかないでくれる縁で、保護者が安心してしあわせに暮らしていけるように…。

そしてそれが、子どもの健やかな育ちにつながるように…。

子どもを真ん中に、ぎゅ〜と「おにぎり」しましょう。ご参加をお待ちしています!



令和7年度卒業式・卒業記念パーティー

3月13日、本学体育館において令和7年度の卒業式が執り行われ、生活学科46名、幼児教育保育学科92名、ビジネスコミュニケーション学科61名、デジタルライフビジネス学科26名の総勢225名の学生が本学を巣立っていきました。毎朝、膳所駅からの坂道を負けずに登り、また、振り返ると琵琶湖が一望できる、そんな本学での学びと思い出を胸に、4月からの社会人としての第一歩を、また4年制大学に編入した学生は、新たな学生生活の第一歩を踏み出してくれることを祈念します。

卒業式後、学生自治会が主催する卒業記念パーティーがびわ湖大津プリンスホテルで催され、お世話になった恩師との別れを惜しんでいる姿や、晴れやかな笑顔で写真を撮りあう姿がありました。



令和8年度入学式・フレッシュマンセミナー

4月2日、本学体育館において入学式が執り行われました。旧来の4学科から新たに2学科4コース体制となってから2年目の今年は、デジタルライフビジネス学科として食健康コース29名、製菓マイスターコース29名、総合医療事務コース16名、デジタルビジネスコース21名の計95名。幼児教育保育学科は70名（長期履修学生を含む）。総勢165名の新入生を迎えての新たな門出となりました。

翌週の4月6日には、毎年恒例となっているフレッシュマンセミナーがびわ湖大津プリンスホテルにて開催されました。午前中には、本学の「建学の精神」に関する講話、また学生生活における諸注意の話がありました。昼食のフレンチ料理をはさんで、午後からは学科・コースに分かれて交流会も開催。いよいよ始まる大学生活に期待が持てる良い機会になったのではないかと思います。



学生と学長との懇談会

毎年5月から6月にかけて行っている懇談会です。この会は、学生にとっては日頃あまり接することのない学長と直接対話ができる貴重な機会であり、本学としても学生目線の意見や要望などを聴くことのできる貴重な機会となっています。各学科から1回生と2回生のうち10名ほどの学生に集まっていただきました。また、自治会の学生や留学生との懇談も行い、今年度は合わせて4回行いました。お昼休みに軽食をとりながら、毎回、和やかな雰囲気の中で学生からの忌憚のない意見や要望、授業を含む日頃の学生生活での気づきについて、多くの話を聴くことができました。



令和8年度フレッシュマンセミナー

4月6日（月）、びわ湖大津プリンスホテルにおいて新入生対象のフレッシュマンセミナーを開催しました。午前は学生自治会によるクラブ・サークル紹介や図書館の利用案内など、学生生活全般に関する説明会が実施されました。テーブルマナーの講習を受けながらのフランス料理の会食を挟んで、午後は学生同士の親睦を深めるため、学科・コースごとにゲームやキャリアセミナーなどを実施しました。

デジタルライフビジネス学科A

食健康コース・製菓マイスターコース 講師 山岡 ひとみ

食健康コース・製菓マイスターコースのキャリアセミナー

令和8年度の食健康コースと製菓マイスターコースの合同オリエンテーションは、4月6日にびわ湖大津プリンスホテルで行われました。セミナーの目的は、学生同士・教員との親睦を深めること、目指す資格や仕事の学びを深めることです。アイスブレイクは、『サイレント・バースデーライン』『100を言ったら勝ち』を行いました。教員も参加し、学生と一緒に楽しい時間を過ごしました。アイスブレイクの後には、教員の自己紹介や職歴、学生時代・人生において大切なことを話しました。学生たちはうなずきながら、興味深そうに耳を傾けてくれました。学生同士の自己紹介も行い、和気あいあいとした雰囲気の中で時間が過ぎていきました。セミナーを通して、友達の輪が広がり、教員を身近な存在として感じてもらえたように思います。また、卒業後を見据えた学生生活の過ごし方を、主体的に考えるきっかけにもなったと感じています。2年間の学生生活が、実り多く充実したものになることを心から願っています。



デジタルライフビジネス学科B

総合医療事務コース・デジタルビジネスコース 教授 江見 和明

総合医療事務コース・デジタルビジネスコースのキャリアセミナー

デジタルライフビジネス学科Bコースでは、新入生同士の親睦を深め、円滑な学生生活のスタートを目的としたセミナーを実施しました。総合医療事務コースとデジタルビジネスコースが合同で行い、名刺交換とビンゴゲームを通じて交流を図りました。名刺交換では基本的な作法の説明を受けた後、まずクラス内で実践し、その後2コース全体で行いました。学生たちは次第に緊張をほぐし、積極的にコミュニケーションを取る姿が見られました。続くビンゴゲームでは、オフィスで使用する文具や備品をテーマに、メンバーで相談しながらカードを作成し、会場は大いに盛り上がりました。終了時には景品のお菓子を分け合う様子も見られ、交流の深まりを感じさせる場面となりました。セミナー後には「多くの人と話せてよかった」「これからの大学生活が楽しみ」といった感想が寄せられ、有意義なスタートとなりました。



幼児教育保育学科

幼児教育保育学科 特任助教 佐々木 瞳

幼児教育保育学科の集い

幼児教育保育学科の集いでは、「新入生が幼教の学びへの意欲を得られる機会になること」「新入生がお互いを知り、親睦を深めること」この2つをめざして、2回生スタッフが、授業や実習で学んだことを取り入れつつ新入生が楽しめるような企画を用意しました。

曲あてクイズ、紙ひこうき大会などアドバイザークラス対抗のゲームでは、学生と教員とが協力する中で、つながりづくりのきっかけになりました。なんでもバスケットでは、クラスの枠を越えて、新入生と教員とが交流しました。そして目玉イベントは、じゃんけん大会。「シンプルながら、みんなに馴染みの深いじゃんけんは、きっと大盛り上がりになる。」2回生スタッフのそのアイデアは、想像通り大成功。明るく笑顔いっぱいの雰囲気で、集いを締めくくることができました。

これからも、大変忙しい短大生活の中で、様々な場面での学生同士の交流を通して、仲間と励まし合う雰囲気が高まっていくことを期待しています。



活躍する卒業生

本学を卒業後、それぞれの道で歩みを重ねながら、
さまざまなフィールドで活躍しています。
今も挑戦を続ける先輩・仲間たちの姿をご紹介します。

生活学科 食健康コース

◆現場で学び、成長する日々

令和4年3月卒業生

大田 夏希さん（公益財団法人 近江兄弟社 ヴォーリズ記念病院勤務）

委託会社での勤務を経て、現在は病院栄養士として働いています。栄養士として働き始めて5年目となりました。これまでに、発注作業や衛生管理、調理作業、提供作業など様々な仕事を通して、多くの経験を積んできました。現場での勤務を経験し、それぞれの業務内容や流れ、食事形態の流れを学ぶことで、柔軟な対応力や判断力を身につけることが出来ました。現在は病院栄養士として、仕込みや調理、盛り付け作業にも携わり、患者一人一人に合わせた食事提供の大切さを実感しています。働く中で悩みや壁にぶつかることもありましたが、辛いときには大学時代の友人や先輩に相談し、支えられながら乗り越えてきました。今後もこれからの経験を活かしながら知識や技術を深め、食を通して健康を支えられる栄養士として成長していきたいと思っています。



生活学科 製菓・製パンコース

◆パンづくりを通して培った責任感と成長

令和6年3月卒業生

土井 葵さん（株式会社オールハーツ・カンパニー グランディール御池店勤務）

令和5年度に卒業後、パン屋に就職し、今年で3年目になります。
グランディールでは、季節ごとにイチゴや抹茶、チョコレートなど、色んなパンを作っており、お客様に季節感を楽しんでいただけるような商品を普段から提供しています。「去年も美味しかったから買いに来た!」と言ってくださるお客様も多く、とてもやりがいを感じています。
私の勤務先は路面店であるため、少人数で営業しており、一人ひとりの役割が重要な環境です。入社当初は、先輩方についていくことに必死でしたが、大学で学んだ知識やこれまでの経験を活かしながら、日々の業務に真摯に取り組んできました。現在では、生産計画の立案や新商品の仕込み表の作成などを任せられ、店舗運営を支える役割も担っています。
また、周囲の状況を見ながら効率よく行動する力や、責任感を持って仕事に取り組む姿勢も身につきました。今後も経験を重ね、さらに店舗に貢献できる人材へ成長していきたいと考えています。



ビジネスコミュニケーション学科 医療事務コース



◆短大での学びを生かし スキルアップに励む日々

令和7年3月卒業生

服部 華奈さん（蘇生会総合病院勤務）

私は、現在、京都市の蘇生会総合病院で医療事務職員として勤務しています。主に、受付や保険証の登録、予約の電話対応をしています。

受付では、様々な患者様がいらっしゃる為、耳が不自由な方には、筆談でお話したり、手が不自由な方は、マイナ保険証の登録を手伝ったり、一人一人に合わせて対応しています。

受付は、病院の印象を決める「病院の顔」です。患者様が安心して受診出来るよう、いつも笑顔で丁寧な対応をするよう心がけています。

患者様の症状に合わせて何科へご案内するかが難しく、苦戦していましたが、先輩方のアドバイスを吸収し、日々新しい知識を得てスキルアップへ繋げられるように努力しています。

今後も、滋賀短で学んだ事を生かし、病院へ貢献したいと思っています。

ビジネスコミュニケーション学科 観光・ホテル・ブライダルコース



◆“ありがとう”がやりがいの一ドアマンとしての一歩

令和6年3月卒業生

岩崎 健太さん（ホテルグランヴィア京都勤務）

私は現在、ホテルグランヴィア京都の宿泊部に所属し、ドアマンとして主にお客様のお出迎えやタクシー手配、VIP対応をしています。

日々、学びの連続の中で、ドアマンはタクシーで来館・退館されるお客様と接することが多く、「ありがとう」と感謝していただけることに、最もやりがいを感じます。

ある時、「君の笑顔はとても素敵だね」と有難いお言葉をいただいた際には、お客様を笑顔にできていることを実感でき、ホテリエに就職して良かったと思いました。

4月からは2年目に入るため、先輩として見本となれるよう、視野をより広く持ち、些細なことでも声をかけ、手を差し伸べられる行動を心がけます。

常にプラスαのおもてなしの気持ちを持って接し、お客様にグランヴィア京都に来てよかったと思っていただけるよう、精進いたします。

滋賀短期大学で学んだホテルの知識やパソコン技術、電話応対などを仕事に活かしながら、お客様に寄り添うサービスができるホテリエを目指します。

幼児教育保育学科



◆“男性保育士 頑張ってます!”

令和4年3月卒業生

藤野 友徳さん（社会福祉法人せんだん二葉会 せんだん保育園勤務）

私は令和4年3月に滋賀短を卒業し、地元である大津市の私立保育園に勤務しています。在学中は保育の専門的な知識や社会人としてのマナーも学びましたが、何より保育者として「学び続ける姿勢」の大切さを教わりました。就職して4年目に入り、今は2歳児クラスの担任をしています。右も左もわからなかった1年目に比べると、後輩もできたり、色々な仕事を任せてもらったりもしていますが、まだまだ勉強中です。時にはつらいこともありますが、子どもが色々なことをできるようになる喜びや、子どもからの「藤野先生大好き!」という声をエネルギーに変えて頑張っています。4年目になり周りが少しずつ見えてくると、日々の子どもの成長を見守ったり、それを一緒に喜んだり、本当にやり甲斐にあふれている職業であることを実感します。滋賀短で身に付けたことを活かしながら、これからも、日々「学び続ける姿勢」を大切に、取り組んでいきたいと思っています。

滋賀短期大学 3センターの学生サポート

ー入学から卒業後までー

ラーニング・サポートセンター

ラーニング・サポートセンター講師 伊澤 亮介

ラーニング・サポートセンターは、3号館1階にあります。入り口を入って左手すぐの教室です。2学科の教員が、授業内容やレポートに関する質問はもちろん、資格のための勉強や、公務員試験、履歴書作成、面接・グループディスカッション対策といった就職関係の勉強など幅広い分野でみなさんの学びをサポートしています。PC関連の質問も受け付けています。また、教職員が在室していないときでも、自習やグループでの活動など自由に利用して下さい。色々な分野の参考書も揃えています。

今後、日々の授業、試験勉強、レポート作成、そして就職試験や資格試験に向けた勉強において分からないことが出てくると思います。それはあなただけではありません。大切なのは分からないままにしないことです。ラーニング・サポートセンターはいつでもみなさんの傍にあります。一緒に頑張っていきましょう。



キャンパスライフ・サポートセンター

学生支援課（保健室） 安井 綾子



キャンパスライフ・サポートセンター（以下、センター）では、各種奨学金の案内や学生自治会・クラブ・サークルといった課外活動のサポート、通学・旅行等に関する書類の発行、落とし物・忘れ物の保管など、学生生活全般に関する業務を行っています。

また、学生相談室を併設しているため、学習面・生活面・人間関係・就職活動・心と身体の健康などに関する悩みについて専門資格を持つカウンセラーに相談することもできます。カウンセラーは2名体制で、火・水曜日の11時から17時まで勤務しています。予約優先制ですので、相談を希望される場合は学生支援課に予約に来て下さい。

センターは学生の皆さんが充実した学生生活を送れるよう応援しています。困ったことや悩みがあれば気軽にセンターを訪ねてください。

キャリア・サポートセンター

キャリア支援課長 八代 茂裕

キャリア・サポートセンターは、キャリアコンサルタントの国家資格を持つ2名のスタッフを含む、教職員8名が一丸となり、1回生は集合教育で自己分析・生成AIの安全な活用などの時代に即した実践的なキャリア授業を行い、2回生はカウンセリングや履歴書添削、面接練習などの個別の就職支援を行っています。さらに「誰ひとり取り残さない支援」を目標に、ハローワークや保育協議会などの公的機関と連携した行き届いた対応を強化しています。また「地元で学び、地元で働く」を目標に、学内に企業を招き働き甲斐を語る「お仕事研究会」を延べ約70社開催するなど、主に地元で活躍する企業とのマッチングに注力しました。その結果、2026年3月卒の滋賀県出身者の地元就職率は91%、特に地元でニーズの高い幼児教育保育職は99%という高い実績を達成いたしました。今後も保護者の皆さまと大学が一体となって支えてまいります。より一層のご理解とご支援をお願いいたします。



新任教員 ごあいさつ



学び続けることの大切さを胸に

デジタルライフビジネス学科 特任助手 村川 千尋

今年度より、食健康コースの助手に着任いたしました。社会人として短期大学にて栄養士免許を取得後、四年制大学へ編入学し管理栄養士免許を取得しました。これまでの経験と学生としての視点の両方を大切にしながら、皆さんと共に学びを深め、成長し続けられるよう努めてまいります。よろしくお願いいたします。



食の魅力を広げる新たな一歩

デジタルライフビジネス学科 特任助手 山崎 葵

滋賀短期大学を卒業後、四年制大学に編入し今年度より食健康コースの助手に着任いたしました。管理栄養士として母校に戻り学びの場に携わることができ、大変うれしく思います。学生の皆さんにとって充実した学生生活となるようサポートし、食の楽しさを伝えられるよう努めてまいります。よろしくお願いいたします。

退職教員 ごあいさつ

デジタルライフビジネス学科 特任講師 仲村 恭子

滋賀短期大学では2年間という短い間でしたが、アウトドアブランド立ち上げなど、「やってみたい!」と思った様々なことに挑戦させていただきました。先生方や職員の方に支えていただき、大変充実した時間となりました。このような機会をいただいたことに心より感謝申し上げます。最後に滋賀短期大学と純美禮学園のさらなるご発展と皆さまのご活躍をお祈り申し上げます。ありがとうございました。

デジタルライフビジネス学科 特任助手 依田 絵理

食健康コースの助手として4年間お世話になりました。1年目は助手として何ができるのかと不安な毎日でしたが、教職員のみなさまの支えにより、学生と共に実習を楽しみ学び過ごせたことに感謝しております。また、日々成長していく学生の姿を間近で見守るという貴重な経験ができたことを嬉しく思います。

最後になりましたが、滋賀短期大学のさらなるご発展と教職員のみなさまのご健勝とご活躍を心よりお祈り申し上げます。

デジタルライフビジネス学科 特任助手 岩崎 愛理

教職員の皆様には多くのご指導と温かいご支援をいただき、心より感謝申し上げます。

日々学生の皆さんの成長に寄り添い、その歩みを見届けることができたことは、私にとって大きな喜びであり、かけがえのない経験となりました。また、私自身も多くの学びと成長の機会をいただき、充実した日々を過ごすことができました。皆様のますますのご健勝とご活躍を心よりお祈り申し上げます。ありがとうございました。

「一つの事務局」が誕生しました

総務課長 兼 教務課長 小杉 ゆう子



本学の事務組織は、総務課・教務課・学生支援課・キャリア支援課・入試広報課の5つの課で構成されています。これまでの事務局は、課ごとに複数の部屋に分かれて執務していましたが、この春からひと部屋に集まり、「一つの事務局」となりました。

これにより、事務職員間の情報共有・協力体制が強化され、学生の皆さんに対するワンストップサービスも可能になり、大変効果的な措置であったと考えております。

学生の皆さんは「玄関入って左の赤い扉」の中を気軽に覗いてみてください。履修や試験のこと、学生生活のこと、就職活動のこと、課外活動のこと、あらゆる相談ごとに「一つの事務局」が対応します。



学生自治会について

学生自治会の活動報告

学生自治会 会長 猪瀬 響希(デジタルライフビジネス学科 食健康コース 2回生)

学生自治会執行部は、「学生が主体となり、より良い学生生活を創造する」を目標に、学生の皆さんの声を大切にしながら様々な活動に取り組んでまいりました。昨年度も多くの学生や教職員の皆様のご協力をいただき、自治会行事を実施することができました。この場をお借りして、心より感謝申し上げます。

6月に実施したスポーツフェスは、昨年度新たに企画したイベントです。競技を通して仲間と協力し、励まし合いながら汗を流す姿が多く見られました。普段は交流の少ない他学科の学生と一緒に、大縄跳びやイライラピン球パルーンリレーなどの競技に挑戦することで、新たな交流の輪が広がる機会になったのではないかと思います。勝敗に関わらず、全力で競技に取り組む姿は大変印象的であり、学生生活の思い出の一つになったことと思います。

11月に開催した純美禮祭では、デジタルライフビジネス学科有志によるファッションショーや音楽サークルによるライブ、学生自治会企画のイントロクイズなど、多彩なステージ企画が行われました。また、クラスやサークルによる模擬店も多数出店があり、多くの学生や地域の皆様にご来場いただき、盛況のうちに終えることができました。

そして、3月に開催した卒業記念パーティーでは、教員から卒業生へのメッセージをまとめたスライドを作成し、上映しました。これまでの学生生活の思い出を語り合いながら、友人や教員との思い出を共有する温かな時間となりました。卒業生の皆さんが滋賀短で培った経験や学びを糧に、それぞれの進路で活躍されることを心より願っています。

学生自治会執行部は、学生の皆さん一人ひとりが充実した学生生活を送ることができるよう、今年度も様々な活動に取り組んでまいります。これからも自治会活動へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



強化クラブについて

【ソフトテニス部の活動】

ソフトテニス部 主将 簾畑 カエラ(幼児教育保育学科 2回生)

私たち女子ソフトテニス部は、現在7人で活動しており、関西学生リーグ3部に所属しています。練習中は真剣にプレーに取り組みながらも、学年を超えて仲の良い雰囲気の中で活動しています。

大会では日頃の練習の成果を発揮できるよう全力で挑戦し、仲間と喜びや悔しさを分かち合いながら、一人ひとりが成長できるチームづくりを目指しています。

これからもチーム一丸となって頑張ってまいりますので、温かいご声援をよろしくお願いいたします。



【バレーボール部の活動】

バレーボール部 主将 岡崎 歌穂(デジタルライフビジネス学科 製菓マイスターコース 2回生)

昨年度は部員が13名と多くゲーム形式の練習もできていましたが、4名が卒業し、今年度は2回生9名で関西大学リーグ3部昇格を目指して日々練習しています。心とボールをつなぐバレーで、滋賀短らしい楽しいバレーで上位をめざします。リーグ戦、西日本インカレの他、滋賀県6人制バレーボール総合男女選手権大会、天皇皇后杯滋賀県予選などの県内の大会にも出場しますので、応援しに来てください。





【新入会員のお知らせ】

令和8年3月13日(金)第55回卒業証書授与式に続き、同窓会入会式が行われました。
小森会長から年次評議員代表の小森美耶さんに委嘱状を手渡しました。

〈令和7年度 新入会員〉

生活学科	46名
幼児教育保育学科	92名
ビジネスコミュニケーション学科	61名
デジタルライフビジネス学科	27名
計 226名	

〈年次評議員〉

生活学科	鈴木 莉子さん、上木原 愛彩さん
幼児教育保育学科	小森 美耶さん、杉本 新菜さん
ビジネスコミュニケーション学科	石元 美憂さん、小倉 東亜子さん
デジタルライフビジネス学科	山岡 咲輝さん、山本 夢羽さん

〈評議員〉

幼児教育保育学科	小森 美耶さん
----------	---------



【令和8年度 同窓会総会・55周年記念式典について】

平素は、同窓会活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。
今年、55周年を記念して、びわ湖大津プリンスホテルにて、

9月6日(日)総会・記念式典(パーティー)を企画しております。

締め切りは、6月30日(火)となっておりますが、やっぱり参加したい!と思ってくさる方は、大歓迎です。直接、同窓会小森(090-1964-7252)まで、ご連絡ください。卒業生はもちろん、教職員の皆様、短大関係役員の方々、滋賀短に携わってくださった全ての皆様に来ていただきたい総会・記念式典(パーティー)です。

9月6日、『懐かしい』また、『初めまして』の皆さんにお出会いできま
すこと、同窓会スタッフ一同、心よりお待ちしております。

【日 時】 令和8年9月6日(日) 12時～15時

【会 場】 びわ湖大津プリンスホテル コンベンションホール 淡海

【日 程】 12:00～ 総会

12:30～ 式典・祝賀会

13:00～ ジャグリングショー 木下 洸希さん(本学卒業生)

13:30～ 講演・ミニコンサート 歌手 木山 裕策さん

15:00 閉会予定

【学報お届け希望アンケート】&【メール登録のお願い】

毎年ご自宅にお送りしていた学報を、いつでも短大ホームページからご覧いただけることもあり、今年度から、配達をご希望される方と新入会員さまのみへお届けしております。

今後も、学報を手元にお届け希望の方は、こちらよりご回答ください。
<https://forms.gle/WQRpssqEr65rf7wE7>



※一度、「お届け希望」でご回答いただいている方は、今後も毎年送らせていただきますので、ご回答いただく必要はございません。

また、皆さんと同窓会をつなぐツールを、今後は主にメールとさせていただきます、そちらのご登録も合わせてよろしくお願いします。
これからも、滋賀短大同窓会が皆さんの楽しい居場所の一つとなり、現在頑張っている未来輝く後輩の皆さんを見守り、応援していける場になれますように🍀

後援会の活動について

6月6日(土)に後援会総会を開催しました。同日に教育懇談会も実施され、多くの保護者が参加されました。

総会において、本年度の滋賀短期大学後援会役員及び委員が選出されましたので報告させていただきます。

今年度も学生たちが充実したキャンパスライフを送れるよう、さまざまな支援を行ってまいりますので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

〈令和8年度 滋賀短期大学後援会委員〉

役員名	氏名	回生	学科
会長	飯塚 愛歌	2	デジタルライフビジネス学科食健康
副会長	青木 裕美	2	デジタルライフビジネス学科製菓
監事	名田百合子	2	幼児教育保育学科
監事	山田 裕子	1	幼児教育保育学科
	岡崎久美子	2	デジタルライフビジネス学科製菓
	藤田真由美	2	幼児教育保育学科
	河合 優美	1	幼児教育保育学科
	三添 展子	1	幼児教育保育学科

令和7年度 教育研究・社会活動(2025年4月～2026年3月)

1) 著書

齋藤尚志 ■(共)『日本の教育』第74集 アドバンテージサーバー 6月

2) 本学研究紀要第51号

齋藤尚志、北尾岳夫

■(共)身体性を基盤とする幼児教育に関する基礎的考察 I 3月

鶴川陽子 ■(単)子どもの人間関係の育ちを支える保育者の関わり 8月

仲村恭子 ■(単)SHIGATAN サーキュラーエコノミープロジェクト-廃材を活用したアウトドアブランド「MOKULAB」への展開-

3) 学術論文

柚木たまみ ■(単)もしも世界中の皆が手を取り合ったならー「もの」との出会い「人」との出会いそして相互理解ー 近畿音楽療法学会誌 3月

鶴川陽子 ■(単)子どもを中心とした保育実践の視点ー「保育内容総論」保育者同士の連携に着目した学びー 池坊短期大学教職課程年報 3月

松井典子 ■(単)ミリアム・ハイドの音楽活動における自己像と社会的受容ー自伝と新聞記事による言説分析を通してー オーストラリア研究 3月

伊澤亮介 ■(単)Pigneaux de Béhaine (1772)及び Taberd (1838)における字喃字体の比較 『モノグラフ ベトナムの民間資料ー多角的アプローチ』ピスタ・ビー・エス (2026) 3月

4) 学会発表

岩崎愛理、依田絵理、仲村恭子、中平真由巳

■(共)琵琶湖の湖魚を用いた魚醤の作成とその利用ー持続可能な食と琵琶湖の共生を目指してー 和食文化学会 8月

中平真由巳 ■(共)家庭における油を用いた調理の状況ー2015年調査との比較ー 日本調理科学会 9月

江見和明 ■(共)キッチンカービジネスにおけるプラットフォームの役割ー滋賀フードトラック協会の事例を中心にー 日本消費経済学会全国大会(中村学園大学) 6月

■(共)キッチンカー事業者の創業に関する研究 日本消費経済学会中部部会(ZOOM開催) 3月

松本善樹 ■(単)産業集積内企業の組織関係プロセスの変化の考察 第85回実践経営学会 関西支部会 2月

柚木たまみ ■(単)モーリス・ドラージュの声楽作品にみられる東洋理解ー《7つの俳諧》における微細なテンポ指示が表すものー 日本音楽表現学会 6月

■(共)〈荒れ野のぼら〉を訪ねて 日本音楽表現学科 6月

菅 眞佐子 ■(単)「みて」を介した他者との共有は幼児の発達をどう支えるか 日本保育学会第78回大会 5月

■(共)一人一人の幼児がどのように探求を深めていくのか(Ⅲ)ー遊びの深まりを捉えながらー 日本保育学会第78回大会 5月

鶴川陽子 ■(単)保育を理解する視点ー子ども理解と省察との関連に着目してー 日本保育学会 5月

松井典子 ■(単)オーストラリアにおける音楽文化の発展ーミリアム・ハイド(Miriam-Hyde, 1913-2005)の功績を通じてー オーストラリア学会第38回地域研究会(関西例会) 2月

伊澤亮介 ■(単)字喃における量語表記と義符の一致現象ー複数資料の比較から 日本漢字学会第8回研究大会 12月

■(単)ベトナム語源学の視点ーAn Chi "TÙ" NGUYỄN"の議論から 日本語源学会 12月

5) 演奏会・展覧会等

柚木たまみ ■音楽の企画 ～アンドレ・カブレ～ 京都青山音楽館(パロックザール) 10月

小笠原寛夫 ■edge type [35°08'26.5"N 136°05'31.3"E](インストール) かわらミュージアム 4月～3月
■Re:undercurrent 琵琶湖ビエンナーレ 9月～11月

6) その他の発表

柚木たまみ ■(単)Japanese Haiku and French Music 奈良カレッジ交流テラス 8月

■(単)モーリス・ドラージュの歌曲(R6年度みかさフェローシップ成果報告) 奈良女子大学 10月

■(単)モーリス・ドラージュと東洋(南葵徳川音楽塾) 和歌山県立図書館本館 2月

7) 国際的活動

中平真由巳 ■(単)フィリピン パナイ島の食と暮らし踏査 フィリピン パナイ島 3月

柚木たまみ ■モニュシュコ・フェスティバル ポーランド クドヴァ 8月

■日本とポーランドの架け橋 ポーランド クラコフ 8月

■サリーヌロワイヤル音楽アカデミー講習会 フランス アルケスナン 2月

8) 社会的活動

秋山元秀 ■草津市景観審議会会長 草津市 年間

■滋賀県NIE推進協議会会長 滋賀県 年間

■滋賀県第28回中学生広場「私の思い2025」県広場の審査委員長 7月、8月

中平真由巳 ■高島市立教育研究所夏季研究講座(栄養教諭対象)「滋賀の郷土料理を活かした学校給食」 高島市役所 8月

■近江牛食育推進事業成果発表会・交流会 講評(滋賀県農政水産部畜産課) 草津エストピアホテル 3月

■滋賀県内栄養教諭研修会(滋賀県栄養士会) 滋賀短期大学調理学実習室 12月

■「近江牛すじ井」ラジオ放送(KBS) KBSラジオ 3月

白木理恵、中平真由巳、依田絵理、岩崎愛理、高畑千尋

■夏休み親子食育教室(大津市衛生課) 滋賀短期大学里山教室、調理学実習室 7月

山岡ひとみ、中平真由巳、依田絵理

■出前講座「クリスマスに映える調理とスイーツづくりに挑戦」 八日市南高等学校(PTA対象) 11月

中平真由巳、山岡ひとみ、白木理恵

■わたSHIGA輝く国スポ・障スポ 大津ドリームフェスティバル リュウジのライブキッチン 調理・ふるまい協力 4月

白木理恵、中平真由巳、高畑千尋

■すみれがーでんでんのおやつ提供 滋賀短期大学附属すみれ保育園 7月

濱田尚美 ■出前講座「食の安全・安心とは」 長浜市 12月

山岡ひとみ ■滋賀短期大学山守すみれ講座「健康でいるための食事～骨粗しょう症予防」 滋賀短期大学附属すみれ保育園 10月

石井 明、久保晶路、堀口真美

■膳所駅前商店街60周年記念事業オリジナルスイーツ開発(ときめきぶりの開発) 滋賀短期大学他 4月～3月

■打出中学校「学校夢づくりプロジェクト」打出の魅力を発信するお菓子の開発への協力 滋賀短期大学他 7月～2月

■公開講座 お菓子の講座「スイーツのお菓子」 滋賀短期大学 8月

■わたSHIGA輝く国スポ・障スポふるまい菓子(大津市平野学区自治連合会)滋賀短期大学、ウカルちゃんアリーナ 9月、10月

■ひらのまつり2025 ベーカリー塾出店 大津市立平野小学校 10月

■びわ湖大津プリンスホテルヘクセンハウス作成、展示 滋賀短期大学、びわ湖大津プリンスホテル 11月～12月

■ケーキ教室「生チョコクリームのクリスマスケーキ」 大津市勤労者互助会と共催 滋賀短期大学 12月

石井 明 ■「ものづくりの魅力」発信出前授業
長浜市立朝日小学校 6月
湖南市立石部小学校 9月
大津市立伊香立中学校 10月
湖南市立三雲東小学校 12月

北尾岳夫 ■公益財団法人滋賀県スポーツ協会 評議員 県内 年間
■滋賀県スキー連盟 総務部長 県内 年間
■滋賀YMCAスキーリーダートレーニング講師 長野県 12月
■滋賀YMCA・富山YMCA共催 能登半島災害被災者支援
「立山スノーブリッジスキーキャンプ」講師 富山県 1月

齋藤尚志 ■大津市社会福祉審議会および同会児童福祉専門分科
会委員 大津市 年間
■兵庫県教育研究会第22分科会「小規模・少人数校
の教育」分科会共同研究者 兵庫県朝来市 11月
■全国教育研究会第22分科会「地域における教育改
革とPTA」共同研究者 三重県四日市市 1月

柚木たまみ ■小学校特別支援学級在籍児童に対する音楽療法を通
じた教員研修(大東市教育委員会) 大東市立小学校
10月～3月
■近畿支部学会誌編集委員(日本音楽療法学会) 年間
■吹田市内の在宅高齢者に対するフレイル予防を目的と
した音楽療法(NPO吹田市音楽療法推進会) 吹田市
文化会館メシアター 年間

菅 眞佐子 ■大津市教職2・3年次研修(幼稚園)講師 6月
■社会福祉法人湘南学園 評議員会 7月
■滋賀県社会福祉審議会児童福祉専門分科会里親審査
部会 9月
■守山市ミドルリーダー研修講師 滋賀短期大学附属す
みれ保育園 10月
■大津市チャレンジ研修講師 1月

鶴川陽子 ■守山市子育て支援研修講師 滋賀短期大学附属す
みれ保育園 8月
■守山市現任保育者専門研修講師 滋賀短期大学附属
すみれ保育園 9月
■大津市保育協議会 公私立代表者会議 学習会講師
大津市役所 1月
■京滋奈保育士養成協議会世話人 オンライン・華頂大
学 年間5回

松井典子 ■滋賀短期大学出前授業 滋賀県立大津高等学校 10月
■日本音楽学会西日本支部第66回定例研究会シンポジウ
ム報告 同志社女子大学 3月

松村都子 ■乳児保育研究会(甲賀市) 甲賀西保育園 6月、9月、
10月、12月
■子育て支援会議(野洲市) 野洲市役所 6月、11月、2月
■滋賀県幼稚園・認定こども園等新規採用教員研修(滋
賀県教育委員会) 滋賀県総合教育センター 7月
■滋賀県第69回保育研究会 県立長寿社会福祉セン
ター 8月、9月
■守山市子育て支援員研修講師 滋賀短期大学附属す
みれ保育園 8月、9月
■守山市ミドルリーダー研修講師 滋賀短期大学附属す
みれ保育園 9月

佐々木 瞳 ■守山市子育て支援員研修 講師 滋賀短期大学附属す
みれ保育園 8月

江見和明 ■日本消費経済学会 理事 年間

沖山圭子 ■全国医師会医療秘書学院連絡協議会運営委員 4月～
■大阪市立小中学校及び義務教育学校における欠席連
絡等アプリケーションシステムのサービス提供事業者選
定委員会にかかる選定委員 8月
■日本医療福祉実務教育協会専門委員 4月～
■松原市立第2中学校・第五中学校 進路学習面接講座
講師 10月

田中裕之 ■令和7年度高大連携事業 滋賀短期大学公開講座「か
らだと病気のしくみ」 滋賀短期大学 7月
■滋賀短期大学守山すみれ講座「からだと病気のしくみ」
滋賀短期大学附属すみれ保育園 11月

伊澤亮介 ■令和8年度大阪府公立高等学校特別入学選抜等にお
ける作文等の翻訳(ベトナム語の翻訳) 大阪府教育委
員会 2月

小笠原寛夫 ■環びわ湖系人材育成体験プログラム採択「中学生のた
めのプロジェクションマッピング」 滋賀短期大学 8月
■第13回とよさと軽音楽甲子園 記録映像撮影・編集指導
豊郷小学校旧校舍群 講堂 11月
■八幡工業高校×金田まちづくり協議会 かねだウィンター
イルミネーション プロジェクションマッピング指導 金田コ
ミュニティセンター 12月
■八幡工業高校×近江八幡ロータリークラブ ～ツナグ 近
江八幡の魅力未来へ～ プロジェクションマッピング指
導 近江八幡市庁舎 12月

松本善樹 ■環びわ湖系人材育成体験プログラム採択「小・中学生の
ためのAI講座ー画像と言葉を使ったAI体験ー」 滋賀短
期大学 8月
■出前講座「仕事・生活で使える!AI活用教室」 草津市
男女共同参画センター 10月

仲村恭子、江見和明

- SHIGATANサーキュラーエコノミープロジェクトに係る活動
 - ・MOKULAB商品のリリースイベント 大津駅前広場
9月
 - ・滋賀県木育施設「しがモック」でのMOKULABの取組
展示とワークショップ 野洲市 11月～1月
 - ・滋賀県のサーキュラーエコノミー促進啓発イベントでの
MOKULAB商品の展示とワークショップ イオンモ
ール草津 2月
 - ・アンテナショップ「ここ滋賀」でのMOKULAB商品の
販売実習 東京都 2月



【開館時間】

通常開館日 8:45～17:00
長期休暇中(火・木) 9:30～13:30
月1回土曜日 9:30～13:30

【休館日】

土曜日・日曜日・祝祭日(一部開館)
長期休暇中(月・水・金)・月末

*学校行事その他の都合により変更することが
あります。HPなどでご確認ください。

こんにちは。図書館には学科に関連する本はもちろん、小説、絵本、雑誌などがあり季節やテーマに沿った本の紹介コーナーなども設置しています。卒業生の皆さんにもご利用いただけます。みなさんのご来館をお待ちしています。

～純美禮祭に参加しました！～

今回は図書館をカフェ風に飾りつけし、ゆっくりくつろいでもらえる場所に模様替え！ 紙リボンペンダントや豆本製作のイベントには、たくさんの来館者が参加してくださり、楽しい時間が流れました。



令和7年度卒業生の就職状況について

キャリア・サポートセンター／キャリア支援課長 八代 茂裕

令和7年度卒業生の就職決定状況は93%でした。今年度は「地元で学び地元で働く」を目標に、滋賀県内就職率向上に向けた取り組みを行い、滋賀県出身者の地元就職率は91%となりました。

一般企業に就職する学生が多いビジネスコミュニケーション学科、デジタルライフビジネス学科に向けては、地元企業を中心に学内で合同企業説明会や、ほぼ毎日1社ずつ企業を招く「お仕事研究会」を実施し、マッチングに努めました。また、滋賀県で特にニーズの高い幼児教育保育学科は、滋賀県保育協議会と協力し、県内で保育士として働く卒業生の話を聞く機会をキャリアデザイン演習の授業内で実施するとともに、協議会のネットワークを活用した就職マッチングを進めた結果、幼児教育保育職の地元就職率は99%を達成しました。

公務員関係で正規職として就職した学生は6名、四年制大学へ編入学した学生は4名でした。

令和7年度の就職・進学先は次のとおりです。これからも私たち教職員が一丸となって学生に寄り添い、納得のファーストキャリアを踏み出せるように、引き続き全力でサポートしてまいります。

(令和7年度) 就職・進学先

〈就職先〉

※順不同、名称は会社形態・法人名称等を省略し、園・医院・屋号等の名称で掲載しています。

生活学科

食健康コース

【栄養士関係】 グリーンハウス／ベスト／メフォス／旭ヶ丘保育園／一富士フードサービス(3名)／東洋食品／日清医療食品(3名)
【企業等】 しがぎんビジネスサービス／ほりお歯科医院／太多歯科・矯正歯科／野洲U歯科・矯正歯科／アズノウズ／エルアイシー／ケンコーマヨネーズ

製菓・製パンコース

【製菓関係】 たねやグループ(4名)／キルフェボン(2名)／パレット／プチ・フランス／ベスト・メリーデイズ／伊藤軒／菓樹工房きぬがわ／菓匠禄兵衛／仁々木
【企業等】 ゲンキー／コスモス／平和堂／琵琶湖マリオートホテル／ホテルニューアワジ／嘉祥窯／北ビワコホテルグラツィエ／ダイキン福祉サービス

幼児教育保育学科

【公立園】 近江八幡市／多賀町／東近江市／守山市／草津市(2名)／大津市／長浜市／甲良町 ※会計年度職員を含む
【私立幼稚園】 滋賀短期大学附属幼稚園
【私立保育所】 竜が丘保育園(3名)／HOPPA大將軍なごみ／あしほ乳児保育園／アスク大津京保育園(2名)／かすが保育園／カナリヤ保育園／すまいる保育園唐崎／たけのこ保育園／つばさ保育園／どんぐり保育園／におの浜保育園／ニチイキッズ栗東中沢保育園／ももか保育園／やまなみ保育園／ゆずのき保育園／岩倉こひつじ保育園／玉野浦保育園／今治中央はりっこ保育園／滋賀しみんふくし保育の家竹が丘／治田西カナリヤ第三保育園／秦川愛児園／成基TAMランド栗東駅前園／専称寺保育園／認可保育園守山こども芸術大学／彦根乳児保育所／北里保育園／友愛
【私立こども園】 このつす園(3名)／カトリック長浜こども園／きりはら遊こども園／すぎの子こども園／のみちこども園／はすねだこども園／ひなぎくこども園／ふたばこども園／みどりこども園／わかばこども園／若鮎こども園／小谷こども園／聖愛幼稚園／石山寺こども園／速野カナリヤこども園／大將軍ひかりこども園／長浜南こども園／東野こども園／南郷こども園／認定こども園おれんじ／認定こども園チャイルドハウス近江(2名)／認定こども園ひかりの森／認定こども園星の子保育園／八宮こども園／保育の家しょうなん(3名)／夕陽会
【施設】 みんなの家のびっ子笠縫／白梅学園／児童養護施設湘南学園
【企業等】 レオンデンタルオフィス滋賀院／ジャパンオートパーツ24／ホンダカーズ滋賀中央／滋賀トヨタ／エクシードジャパン

ビジネスコミュニケーション学科 (医療事務コース)

【医療・医療事務関係】 うえだこどもクリニック／カズ皮フ科医院／クラウド歯科・矯正歯科／けんしん薬局／サン調剤薬局／スズキ薬局／ティエス調剤薬局／滋賀県病院(2名)／大津市民病院／長浜赤十字病院(2名)／長浜病院／豊郷病院／いずたにデンタルクリニック／ますだ歯科クリニック／東近江だいき歯科・矯正歯科
【企業等】 サービス&セキュリティ(2名)／しがぎんビジネスサービス／一柳運送／夏原工業／滋賀運送／日産プリンス滋賀販売／俵屋吉富／エヌ・アイ・シー／長浜自動車学校／万代／滋賀工業

ビジネスコミュニケーション学科 (総合ビジネスコース)・デジタルライフビジネス学科

【企業等】 サービス&セキュリティ／観翠園／エルアイシー／しがぎんビジネスサービス(3名)／レックケア／関西技研／滋賀保健研究センター／種新／総合キャリアオプション／扶桑工業／イング／ケースデンキ／サカイ引越センター(2名)／トヨタレンタリース滋賀／バルCIAOPANIC TYPY／ライクスタッフ／井筒ハツ橋本舗／滋賀ダイハツ販売／滋賀トヨタ(3名)／平和堂／明治屋産業／洛和会ヘルスケアシステム／ハイメディック／ホテルニューアワジ／FOOD&LIFECOMPANIES／滋賀建機／琵琶湖レックサイドゴルフコース／オーツカ／サンワード／辰巳化学／ゼロプラスプレジジョン／ダイハツ工業／甲賀農業協同組合

〈進学先〉

※順不同

〈生活学科 食健康コース〉 滋賀短期大学 幼児教育保育学科(再入学)
〈幼児教育保育学科〉 京都文教大学 総合社会学部総合社会学科公共政策コース(編入)／びわこ学院大学 教育福祉学部子ども学科(編入)
〈ビジネスコミュニケーション学科〉 大阪学院大学 経営学部経営学科(編入)
〈デジタルライフビジネス学科〉 京都産業大学 経営学部マネジメント学科(編入)

学校法人純美禮学園の令和7年度決算・財務状況報告について

学校法人純美禮学園の令和7年度決算について、会計監査人の監査、学園監事の監査、理事会・評議員会の承認を経て、確定いたしましたのでご報告いたします。

事業活動収支計算書は、当該会計年度の各事業活動における収支の内容及び均衡の状態を明らかにしています。

貸借対照表は、本学園の会計年度末の資産状況を明らかにしています。

令和7年度決算報告について

事業活動収支計算書

令和7年4月1日から令和8年3月31日まで (単位: 千円)

教育活動収支	事業活動収入の部	科 目	決 算
		学生生徒等納付金	985,837
		手数料	25,452
		寄附金	16,484
		経常費等補助金	628,867
		付随事業収入	18,038
		雑収入	53,221
		教育活動収入計	1,727,899
教育活動収支	事業活動支出の部	科 目	決 算
		人件費	1,060,311
		内: 退職給与引当	2,992
		教育研究経費	602,884
		内: 減価償却	182,831
		管理経費	130,164
		内: 減価償却	14,605
		徴収不能額等	1,233
		教育活動支出計	1,794,591
		教育活動収支差額	△ 66,692
教育活動外収支	事業活動収入の部	科 目	決 算
		受取利息・配当金	85,625
		その他の教育活動外収入	0
		教育活動外収入計	85,625
教育活動外収支	事業活動支出の部	科 目	決 算
		借入金等利息	3,244
		その他の教育活動外支出	0
		教育活動外支出計	3,244
		教育活動外収支差額	82,380
		経常収支差額	15,688
特別収支	収入の部	科 目	決 算
		資産売却差額	0
		その他の特別収入	15,718
		特別収入計	15,718
特別収支	支出の部	科 目	決 算
		資産処分差額	4,803
		内: 機器備品除却損	3,500
		その他の特別支出	0
		特別支出計	4,803
		特別収支差額	10,915
		基本金組入前当年度収支差額	26,603
		基本金組入額合計	△ 71,185
		当年度収支差額	△ 44,582
		前年度繰越収支差額	△ 1,866,846
		基本金取崩額	93,784
		翌年度繰越収支差額	△ 1,817,643

(参考)

事業活動収入計	1,829,242
事業活動支出計	1,802,639

貸借対照表

令和8年3月31日 (単位: 千円)

資産の部	科 目	本 年 度 末
	固定資産	(5,606,513)
	有形固定資産	3,694,054
	土地	369,348
	建物	2,531,176
	構築物	198,116
	教育研究用機器備品	278,303
	管理用機器備品	19,921
	図書	275,887
	車両	21,304
	特定資産	1,910,448
	第3号基本金引当特定資産	401,809
	退職給与引当特定資産	118,452
	減価償却引当特定資産	1,387,228
	保育施設整備引当特定資産	2,959
	その他の固定資産	2,012
	施設利用権	1,265
	電話加入権	646
	保証金	100
	流動資産	(698,379)
	現金預金	598,194
	未収入金	97,542
	貯蔵品	27
	前払金	2,616
	資産の部合計	6,304,892
負債の部	科 目	本 年 度 末
	固定負債	(729,360)
	長期借入金	511,060
	退職給与引当金	218,300
負債の部	流動負債	(309,764)
	短期借入金	44,440
	未払金	84,643
	前受金	163,748
	預り金	16,932
	負債の部合計	1,039,124
純資産の部	科 目	本 年 度 末
	基本金	(7,083,411)
	第1号基本金	6,563,643
	第2号基本金	2,959
	第3号基本金	401,809
	第4号基本金	115,000
	繰越収支差額	(△ 1,817,643)
	翌年度繰越収支差額	△ 1,817,643
	純資産の部合計	5,265,768
	負債及び純資産の部合計	6,304,892

■ 私の青春時代

ラーニング・サポートセンター 講師 伊澤 亮介

高校野球が苦手だ。「光る汗、暑い夏」みたいなのが苦手だ。何の街いもなしに心底馴染めないものを感じる。そんな青い空と元気な笑顔が「青春」だとするならば、「アンチ青春」が私の青春だった。健康的なもの、清潔感、昼の時間に背を向けたかった。今考えればつまらない「逆張り」だが、それを無邪気に楽しめていた時期だった。

大学4年生の頃、昼間はずっと部屋でつまらない論文と日記を書き、夜はアルバイトに行くだけだった。それまでの3年間で、何かを得た感触はなく、金もなければ、友人ももういなかった。将来への希望も不安もなかった。振り返ってみてこの時期ほど幸せだった時期はない。日々取り留めもないことを考えては悦に入っていた。

ただ、陰極まれば陽に転ずるもので、悩むフリをして色々と考えているうちに、ふと、自分はあまり悩む才能のない人間だということに気づいた。そこに残念さはなかった。全く晴れやかな気持ちだった。その時やっと「青春」の呪縛から解放されたのだと思う。

その後の人生にとっては、毒にも薬にもならない贅沢な時間を過ごした。短大生にそんな暇はないのかもしれないが、それほど長く時間を費やす必要もない、一瞬でも「無駄」な「ふと立ち止まる」時間を持てるといいと思う。



▲サッカーは好き



▲大学生時代

地域連携センターの活動

滋賀短期大学では、地域のみなさまを対象に今年度もさまざまな事業を実施します。詳細は、イベントごとにホームページやチラシ等でご案内しております。(すでに申し込みを締め切っているものもございます。ご了承ください。)

- 子育て支援事業「すみれがーでん『おにぎり』」
6月29日(月)オープン(月1回毎月最終月曜日に実施予定)
滋賀短期大学 子育て支援教育プレイルーム
- 環境わ 理系人材育成体験プログラム
「小・中学生のためのAI講座」 特任講師 松本善樹 8月
「中学生のためのプロジェクションマッピング」 准教授 小笠原寛夫 8月
「小・中学生のための簡単なプログラム講座」 特任講師 松本善樹 8月
滋賀短期大学 コンピュータ教室 他
- お菓子の講座
「ドイツのお菓子」 特別教授 石井明 8月
滋賀短期大学 製菓実習室
- 守山すみれ講座
「リフレッシュ」をテーマに医学、音楽、食の分野から3講座を予定 11月～12月
滋賀短期大学附属すみれ保育園 研修室
- 守山市子育て支援員研修(守山市からの受託事業)
滋賀短期大学附属すみれ保育園 研修室 7月～9月
- 保育士試験対策講座(滋賀県からの受託事業)
滋賀短期大学 121教室 他 9月、3月



ホームカミングデー開催のご連絡

今年度のホームカミングデーは、以下の日程で行います。お誘いあわせの上、ご参加ください。教職員一同お待ちしております。(実施日の1週間前までに申し込みください)

【生活学科】日時:8月22日(土)14:00～
場所:滋賀短期大学
試食室 314教室(3号館1F)



【ビジネスコミュニケーション科】日時:8月22日(土)14:00～
【デジタルビジネス科】場所:滋賀短期大学
PBLルーム/スカイロビー(3号館3F)



【幼児教育保育学科】日時:12月12日(土)13:30～
場所:滋賀短期大学
子育て支援教育プレイルーム211教室(2号館1F)



人事異動(教員の退職・採用等)

退職 (令和8年3月31日付)

デジタルライフビジネス学科	特任講師	仲村恭子
デジタルライフビジネス学科	特任助手	依田絵理
デジタルライフビジネス学科	特任助手	岩崎愛理

新規採用 (令和8年4月1日付)

デジタルライフビジネス学科	特任助手	村川千尋
デジタルライフビジネス学科	特任助手	山崎 葵

「滋賀短期大学学報」読者アンケート

滋賀短期大学学報について、誌面に対するみなさまからのご意見・ご感想をお寄せいただき、より良い冊子、Web配信とするため、読者アンケートを行っています。

アンケートにご回答いただいたみなさまのうち、ご希望の方には抽選で「しかたんオリジナルグッズ」をお贈りしますので、ぜひご協力ください。

<https://forms.gle/Tai3De3SAhwmvA9c6>



↑アンケート
はこちら

学報は年1回発行です。最新の学校情報や行事、ニュースはHPからご覧ください。

